

「フニクリ フニクラ」の改訂内容について

6月22日のこの曲の初練習で、高嶋先生からこの曲について色々と指示・説明がありましたので、その内容3点を整理しました。休会中の自宅練習用に掲載していた練習用音源とは大きく変わっていますので、定常練習で使う配布楽譜上での自分の歌う部分を明確化しておいて下さい。

次の3点です。

- ① 各パートが歌う箇所の説明
- ② 特定パターンの音の長さ延長の説明
- ③ この曲を歌う上での注意点、練習時の指摘

① 各パートが歌う箇所の説明

・メロディーの人数を増やしたい ・休符が長く続かないようにしたい ために、各パートが歌う箇所を変更したとの説明がありました。その結果、歌う箇所の45%程がユニゾンになっています。

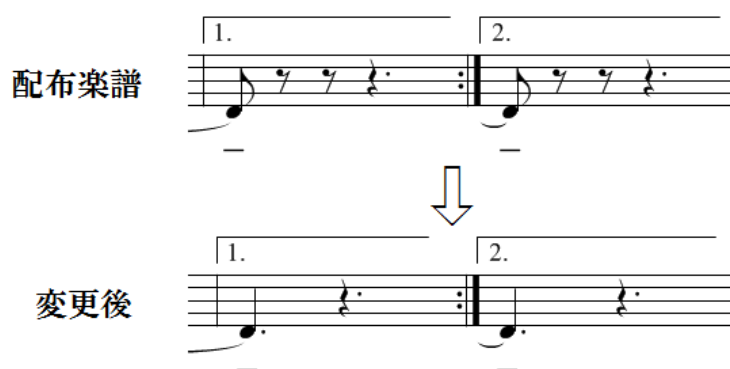
各パートが歌う箇所の詳細は、音源作成用に準備した楽譜を音取りHPのアーカイブのこの曲名の右端の欄に掲載したリンク「[音源作成用の改訂版4パート楽譜\(A4\)](#)」を見て、確認してください。練習時に使う配布楽譜上に、歌う時に迷わないように明記しておいて下さい。

なお、練習用音源はすべてこの改訂版に沿って作り直しました。

② 特定パターンの音の長さ延長の説明

ピアノ伴奏との兼ね合いで、次のパターンで延ばす音をさらに四分音符分延ばすことになりました。延びる分は休符を削除します。このパターンは8か所ありますので、楽譜を書き替える必要があります。

配布楽譜1頁の最後に2か所このパターンが有り、次の図のように変更です。



残る6か所は、配布楽譜の小節番号で、33、42、90、99、108、117 です。

同じ形をしても延ばさない箇所もありますので注意してください。

③ この曲を歌う上での注意点

(1) 弾まないこと！ 次のような歌い方になるな。スラーがいっぱいいつている。

「タン タ タン タ タン」ではなく「ダーダダーダダー」だ。

楽譜は



悪い例



楽譜は



悪い例 1



悪い例 2



(2) 歌い出しの言葉、上図なら「あ」の八分音符（1/3 拍）は長めに。

あかーい、そこーは、とぎーん、ながーれる、くらーい、あれーは、もえーる 等。

(3) 次の歌詞の間でプレスしないこと！ 「～フニクラ」と「誰も乗る」の間。



これは 3 か所あり、歌詞は全く同じで、配布楽譜の 54-55、71-72、129-130 小節です。
音源作成用楽譜上には、NB と記載しています。

(4) 上の歌詞の「～フニクラ」の「ラ」は 1 番の 1 回目は 2 拍だが 2 回目は 4 拍です。
間違えないように。

(5) 次の歌詞を無声音にしないこと。

電車が出来たので 地ごくのかまの中

(6) 「行こう 行こう 火の山へ」の休符をしっかりと休むこと。

以上

2021.6.25

S. Shirai